

【保護者様からの事業所評価に対するご意見を踏まえた対応等】

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所自己評価表 別紙

令和5年3月

デイサービスまりも平野東

◎環境・体制整備

・工夫している点

利用人数やイベントに応じての職員の増員をし、安心して活動できるよう配慮しております。

使用する空間はバリアフリーになっており、必要と思われる箇所には、手すりを設置しております。

必要に応じてトイレ使用時にすべり止めマットを用いるなどし個別の対応をしております。

・改善、改善目標

配置基準は適切ではありますが引き続き求人活動を行うとともに、職場環境等をより良い環境にし、人員の確保に努めます。

すべての職員が保護者様と十分なコミュニケーションが取れている状態ではないので、これからは保護者様と職員の情報伝達等、一層のコミュニケーションを図ります。

◎業務改善

・工夫している点

毎日の朝礼・終礼時に情報やその日の気づきを共有しております。

オンライン上での外部研修等には可能な限り参加しております。

最低月に1回事業所内研修を実施し、職員間の共通認識や方向性を統一させ支援内容の向上を目指しております。

・改善、改善目標

引き続きオンラインでの外部研修に参加し、職員間で情報共有を行い、支援内容の向上を目指すと共に、新型コロナウイルスの流行収束に合わせ、外部研修会・講習会へ積極的に参加していきます。

◎適切な支援の提供

・工夫している点

日々の活動内容の記録、保護者様との面談に基づいて計画を見直し

個別活動や集団活動等、利用者様に合わせた計画を立てております。
モニタリングでは可能なところは学校・相談支援員を交えて行い療育の方向性にブレが無いよう注力しております。
また日々の業務終了後には活動内容の振り返りや、子供の様子・送迎時の保護者様からの伝達等の情報共有を行い、療育プログラムや行動予定など複数の職員が意見を出す場を設け、一人の職員で決定するのではなく、他視の状況で決定しております。

・改善、改善目標

今後は、より詳しいアセスメントを行い、送迎時での活動内容の可視化を図ります。

新型コロナウイルス流行収束に合わせ、季節の行事やイベントなどより多くの意見を取り入れ外部の子ども達との交流の機会も積極的に増やしていくことを検討していきます。

◎関係機関や保護者との連携

・工夫している点

来所或いは訪問の上、傾聴と相談を図る。担当者会議の開催、可能な福祉支援の提供と相談をしております。

学校にお迎えに行った際に、職員の方にその日の子どもの様子を情報伝達を図っております。

担当者会議などを定期的に開催し学校・家庭・施設での様子など情報のすり合わせをしております。

また、電話や口頭だけでなく、LINE やメールを使うことで話しやすい環境づくりを行っております。

・改善、改善目標

新型コロナウイルス感染予防の観点から

夏祭り・ハロウィン・クリスマス会等、施設内のみでの開催をしておりますが、今後、収束状況に合わせ開催内容を見直し、関係各所との連携や交流を図れるよう検討いたします。

◎保護者への説明責任等

・工夫している点

活動内容や情報等はブログを作成し（2～3回/週）情報発信をしております。
下記 URL からご覧いただけます。



https://h-navi.jp/support_facility/facilities/161040

・改善・改善目標

新型コロナウイルス感染予防の観点からも、定期的な保護者会等は開催していません。収束の目途がつき、今後、ご希望が複数ございましたら、開催する方向で準備を進めていくよう検討いたします。

◎非常時の対応

・工夫している点

BCP の作成、各種緊急時マニュアル等を作成しており、定期的に内容の見直し更新をしております。

また、大阪府等が開催する講習会に参加し、事業所内で勉強会等を通して職員全体で情報を共有しております。

・改善・改善目標

やむを得ない身体拘束を行わざる得ない状況が想定される児童に対しては、保護者と十分に協議をし、その内容を同意書に記載、また個別支援計画書にも記載して保護者と十分な意思の確認を行います。

新型コロナウイルスの収束の目途がついたら、消防員の指導の下の避難訓練の再開をいたします。

また、訓練等を実施した場合、関係各所に通知いたします。

保護者様への周知を進めていきます。